

主婦らが案内マニユアル

川崎市
宮前区

介護保険サービス

事業者探しを手助け

「介護保険のサービス事業者は自分たちの目で確かめて選ぼう」と、川崎市宮前区に住む主婦らによって、地域の事業者の案内マニユアル「タッチ」が刊行された。発行責任者は在宅介護支援ボランティアグループ「すずの会」代表の鈴木恵子さんで、自身も母親の介護をしたが、何もわからず苦労したという。介護保険の求職者向けに、市で提供しているサービスに市民で情報を共有する取り組みが広がっている。

【設川 晋則】

みんなで介護



仲間の主婦と介護サービス事業者のマニユアル「タッチ」を出した鈴木恵子さん

項目ごとに、足で確かめ

同会は3年前、主婦ら30軒訪問、自分たちの目や人で組織、家人が留守中に高齢者を巡回訪問するサービスや、高齢者を二時的に中心に東急田園都市線沿線

「タッチ」には宮前区を

「すずの会」代表の鈴木恵子さんで、在宅サービスを提供している社会福祉法人、民間事業者のほか、特別養護老人ホーム、老人保健施設、

介護療養型医療施設の約70件を掲載している。在宅介護サービスだけでなく「ホームヘルプサービス」や「入浴サービス」も掲載している。利用料や申し込みの仕方、利用者の権利も詳しく記している。ケアマネージャーの資格を持つ鈴木さんは「介護保険ではいろいろなサービスを利用できる代わりに、利用者の責任も大きくなる。手がかりになる身近な情報を手がかりに、多くの人から情報を集めた。」

「A4判14頁、900円。申し込みは田中さん(03-901-7651)へ。」

「A4判160頁、1000円。申し込みは鈴木さん(044-755-7387)へ。」

また、横浜市青葉区の田中明子さんと林洋子さんは「高齢者福祉情報」あしたは私も高齢者 青葉区版「1-2」を自費出版した。二人は高齢者福祉を学ぶ市民グループで知り合い、初めはホチキスで留めた福祉情報を出していたが、希望者が多くなったため2年前に青葉区版を初めて刊行。昨年は青葉区版を出した。今回は青葉区版の改訂版で、介護保険のスタートを踏まえ、各相談窓口や介護サービス提供事業者、福祉施設、医療機関などの情報を歩いて集めた。